

部員数 22名
代表者 倉知 英彦
創立年 昭和39年3月

山岳部

「山ガール」という言葉が躍りだしてからそろそろ10年になろうとしています。以前は中高年の登山ブームと言われ、どこの山に行っても出会うのは中高年登山者ばかりでしたが今ではどこの山に行っても必ず若い登山者に会います。「山ガールが山に入ればもれなく山ボーイもついてくる」とはどなたのセリフだったのでしょうか。今や老いも若きもファミリー登山者も山に登る時代になり、山ブームはもはやブームではなく誰もが始めようと思えばすぐに始められる「趣味は登山」として定着しました。

テレビでは芸能人が山岳ガイドに案内され百名山に登る番組が放映され、雑誌では山の基礎知識や道具、山岳保険にいたるまで特集され、時に観光案内さながらに山の景色や山小屋が紹介されています。その上インターネット上には数えきれない山の記事やブログが並んでいます。

磐田山の会の設立から今年で58年になりますがそうした溢れる情報のおかげで登山を始めるのは以前に比べ容易なことであるかもしれません。しかしながらその一方で、経験値の浅い登山者による遭難事例がここ数年増えていることも事実です。数字の上では中高年遭難者、と括られてしまうのですが30代～50代の遭難件数は確実に増えている現状です。

磐田山の会設立当時からの会員は一部永年会員となり、年々会員の平均年齢は上がっていますが毎月第二木曜日の定例会においては、月一回の定例山行の計画、報告、反省、そして個人山行の報告などが話し合われます。また、春は残雪の山へ、夏はアルプスへ、秋は紅葉を求めて、そして白銀の冬山へと、季節の山行も積極的に行っています。山頂を目指してがむしゃらに歩いてきたピークハントの時代を経て、最近は季節の高山植物を愛でたり山からの眺望を心ゆくまで楽しんだりする時間も増え、会員の平均年齢上昇の良い表れかもしれません。



南アルプス 北岳の固有種 キタダケソウ



南アルプス 兎岳に咲く タカネヒランジ



八ヶ岳横岳 ツクモグサ

昭和40年代から毎年行ってきた市民登山ではありませんが、会員の高齢化と会員減少に伴い現在市民登山は行っておられません、登山教室として不定期に行っています

平成21年

平成22年 京丸山 (静岡県1469m)

平成23年 比叡山 (京都府848m)

平成24年

平成25年 石割山 (山梨県1412m)

平成26年

平成27年

平成28年 筑波山 (茨城県 876m)

平成29年 傘山 (長野県1542m)

二度目の東京オリンピックが開催される2020年、磐田山の会は設立60周年を迎えますが、過去に一度も一人も遭難者を出していません。当然のこととは言え、時に命がかかる登山においてこれは大変誇って良いことだと思っております。これからも「家に帰るまでが登山」と心得て仲間と共に楽しく、安全第一に活動していこうと考えております。



平成25年春山行 残雪の槍ヶ岳



平成26年夏山行 劔岳登頂 (テント泊)



平成23年11月 比叡山登山教室



平成29年夏山行 赤石岳から望む

【文責 片倉朋子】